

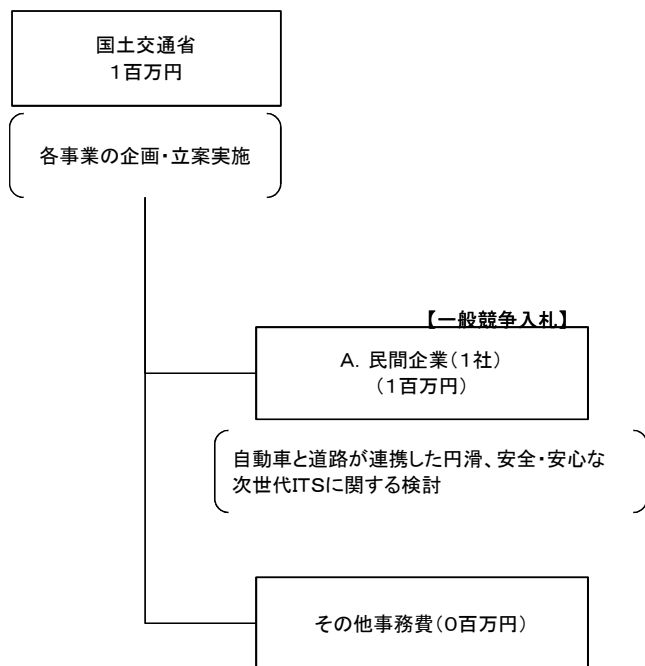
平成25年行政事業レビューシート

(国土交通省)

<b>事業名</b>	自動車と道路が連携した円滑、安全・安心な次世代ITSに関する検討		担当部局庁	自動車局		作成責任者		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成24年度～		担当課室	技術政策課		課長 江角 直樹		
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>政策・施策名</b>	5 安全で安心できる交通の確保、治安・生活安全の確保 14 公共交通の安全確保・鉄道の安全性向上、ハイジャック・航空機テロ防止を推進する				
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	-		<b>関係する計画、通知等</b>	-				
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	円滑、安全な交通を確保するため、自動車と道路が連携した次世代ITSの実現に向けて、官民連携によるACC(車間距離制御システム)搭載車両を使用した実証実験を含む技術・安全面の検討や、渋滞等に対する効果分析を推進。							
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	都市間高速における渋滞のうち、勾配変化部(サグ部)に起因する渋滞は約6割であり、喫緊の対策が必要となっている。また、交通事故による死傷者数は依然として高い状態で推移しており、対策が必要となっている。このことから、ACC(車間距離制御システム)搭載車両を使用した実証実験を実施し、技術・安全面の検討や課題の抽出を行い、渋滞解消等に対する効果分析を行う。							
<b>実施方法</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>	予算の状況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算	-	-	2	20		
		繰越し等	-	-	-	-		
		計	-	-	2	20		
	執行額	-	-	1				
	執行率(%)	-	-	42.8%				
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	自動車と道路が連携した円滑、安全・安心な道路交通の実現		成果実績		-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	官民連携によるACC(車間距離制御システム)搭載車両を使用した渋滞対策の実証実験を実施		活動実績 (当初見込み)		-	-	1	
					( )	( )	(1)	(1)
<b>単位当たりコスト</b>	-		算出根拠	-				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	0						
	委員等旅費	0						
	公共交通等安全対策調査費	20						
	計	20						

事業所管部局による点検						
		項目	評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	渋滞解消に向け道路交通の円滑化・安全性の向上に寄与するための調査であり、優先度が高く、国が実施すべき事業である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
事業の効率性	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		—	契約にあたっては、一般競争入札を活用し、公正中立性が保たれている。		
	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○			
	受益者との負担関係は妥当であるか。		—			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		—			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
事業の有効性	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—	自動車に係る行政ニーズに効率的かつ効果的に対応するための基礎的検討を実施している。		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○			
重複排除	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		
	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		○			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	<p>・「ITSに関するロードマップ」(H23年8月IT戦略本部決定)において「路車・車車連携型システムの実用化に向けた課題を解決するため、官民が連携し、既存のシステムを含む様々なシステムによる適切かつ効果的な分担に係る検証を行う(2012年)」とされたこと等に基づき、渋滞解消に向けた道路交通の円滑化・安全性の向上に関する国が行うべき基礎的検討を効率的に実施している。</p> <p>・官民が連携し平成25年10月に開催されるITS世界会議東京2013において実証実験を行い情報発信するなど、今後も安全運転支援システムの普及・発展を効率的かつ効果的に推進することが必要。</p>					
外部有識者の所見						
<p>成果目標及び成果実績(アウトカム)に記載されている内容は定量化されておらず、成果指標として考えることは難しいのではないかと。渋滞解消がひとつの目的であるのであれば、その効果を直接に定量的指標として用いることが考えられないだろうか。</p>						
行政事業レビュー推進チームの所見						
事業内容の改善	<p>定量的な成果目標及び成果実績(アウトカム)が示せるよう検討を行い、成果指標を分かりやすいもの等に見直すべき。</p>					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
廃止	<p>今後、新たな事業実施の際に、チームの所見について反映するよう努める。</p>					
備考						
<p>関連する過去のレビューシートの事業番号</p>						
	平成22年	-	平成23年	-	平成24年	1029

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



**資金の流れ**  
(資金の受け取り  
先が何を  
行っているかについて  
補足する)(単位:百万  
円)

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」に  
 おいてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と使途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

A.社会システム株式会社			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
調査費	自動車と道路が連携した円滑、安全・安心な次世代ITSに関する検討	1			
計		1	計		
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計			計		
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計			計		
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計			計		

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	社会システム株式会社	上記事業概要に同じ。	1		98%
2	-	-	-	-	-
3	-	-	-	-	-
4	-	-	-	-	-
5	-	-	-	-	-
6	-	-	-	-	-
7	-	-	-	-	-
8	-	-	-	-	-
9	-	-	-	-	-
10	-	-	-	-	-

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-
3	-	-	-	-	-
4	-	-	-	-	-
5	-	-	-	-	-
6	-	-	-	-	-
7	-	-	-	-	-
8	-	-	-	-	-
9	-	-	-	-	-
10	-	-	-	-	-